令和８年度　全国学力・学習状況調査

調　査　結　果

１　調査の概要　１ページ

２　教科に関する調査結果　２～　４ページ

３　質問紙調査に関する調査結果　５～１６ページ

４　分析内容　１７～２０ページ

令和８年１０月

羽幌町教育委員会

１.調査の概要

(1) 調査の目的

○ 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。

○ 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

○ 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

(2) 調査の対象

・【小学校調査】　小学校第６学年（羽幌小学校）

・【中学校調査】　中学校第３学年（羽幌中学校、焼尻中学校）

※天売小・中学校と焼尻小学校は、調査対象学年に在籍する児童生徒が不在のため対象外。

(3) 調査内容

①教科に関する調査

・小学校２教科（国語、算数）

・中学校３教科（国語、数学、英語）　※英語は不定期に実施。

国語：学習指導要領に示されている「言葉の特徴や使い方に関する事項」、「情報の扱い方に関する事項」、「我が国の言語文化に関する事項」、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」に関わる選択式・短答式・記述式の３種類の問題。

算数：学習指導要領に示されている「数と計算」、「図形」、「測定」、「変化と関係」、「データの活用」に関わる選択式・短答式・記述式の３種類の問題。

数学：学習指導要領に示されている「数と式」、「図形」、「関数」、「データの活用」に関わる選択式・短答式・記述式の３種類の問題。

英語：学習指導要領に示されている「読むこと」、「書くこと」、「聞くこと」、「話すこと」に関わる選択式・短答式・記述式の３種類の問題。

②生活習慣や学習環境等に関する質問調査

・児童生徒に対する調査

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する事項を主に、児童生徒に質問調査を実施。

・学校に対する調査

指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備状況等に関する調査（授業の改善に関する取組、指導方法の工夫、学校運営に関する取組、家庭・地域との連携の状況）に関する事項を主に、学校に質問調査を実施。

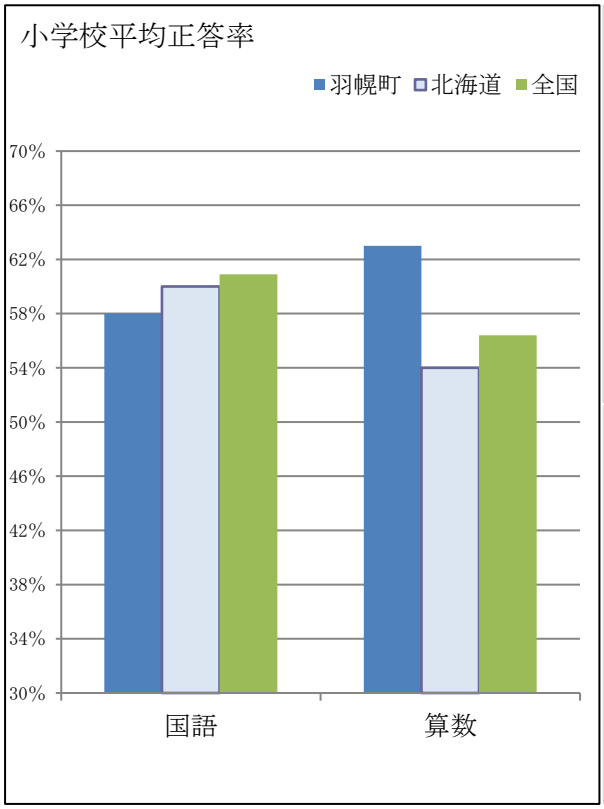
(4) 調査実施日

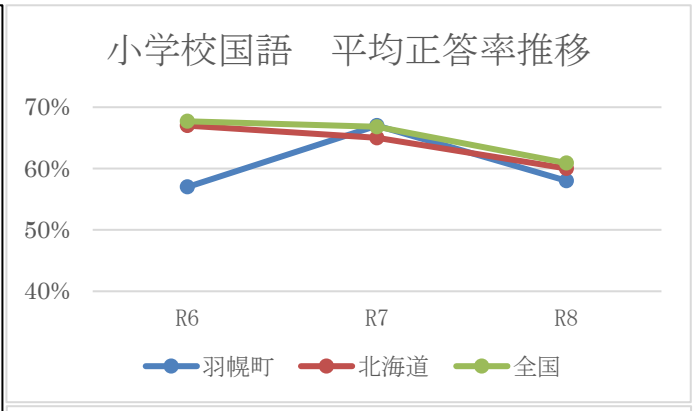
・【国語、算数・数学】　令和８年４月２３日（木）

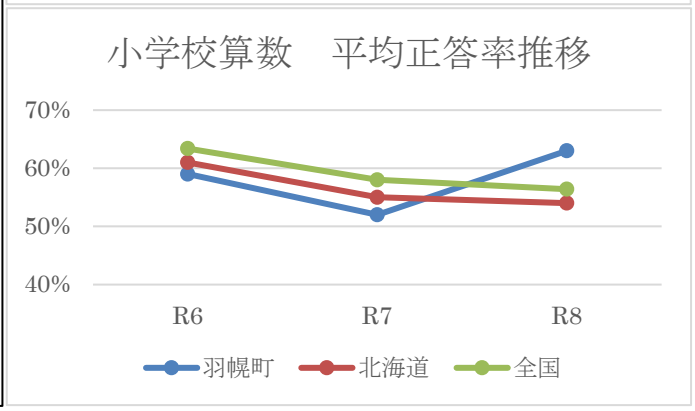
・【英語、質問調査等】　各校で設定した日程で実施

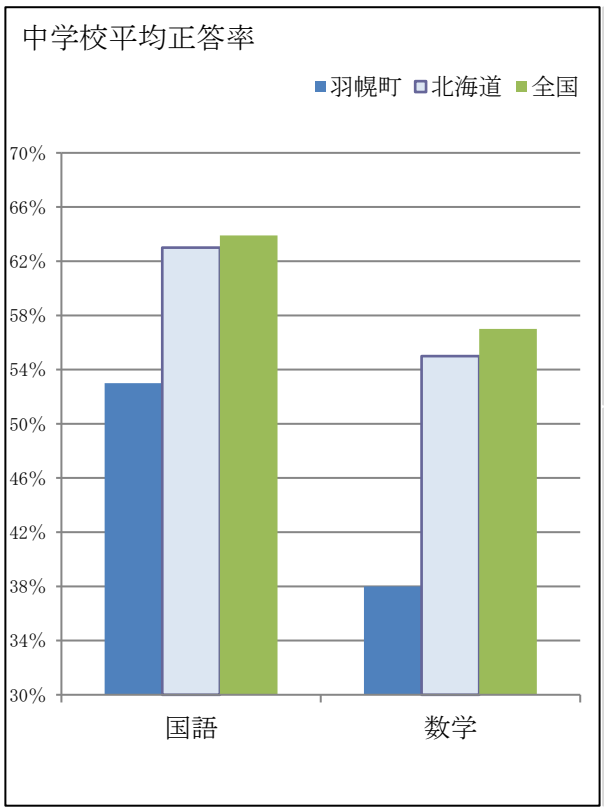
2．教科に関する結果

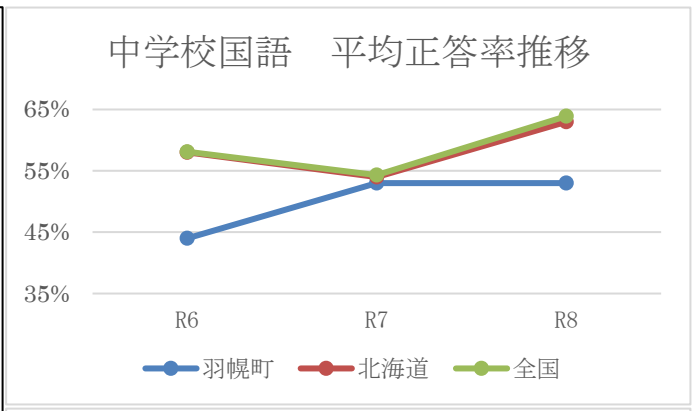
（1）平均正答率について

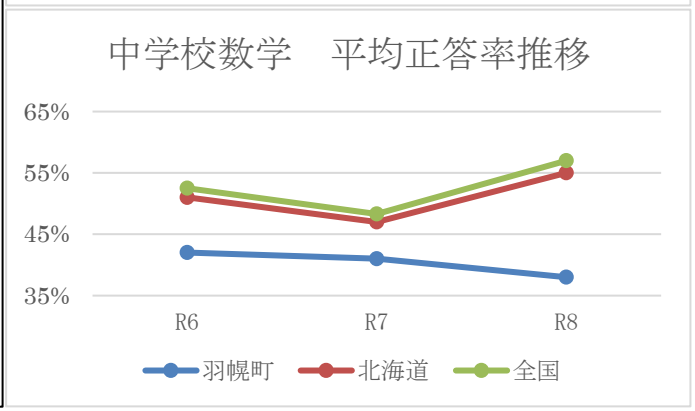




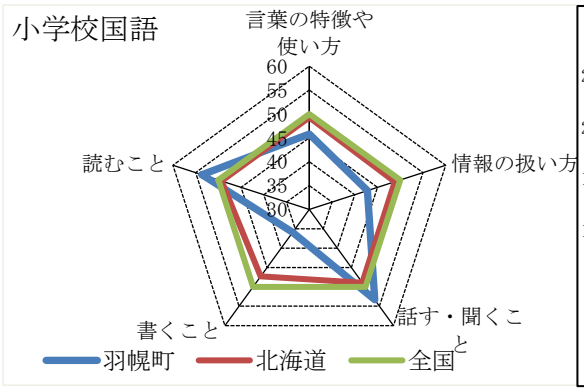


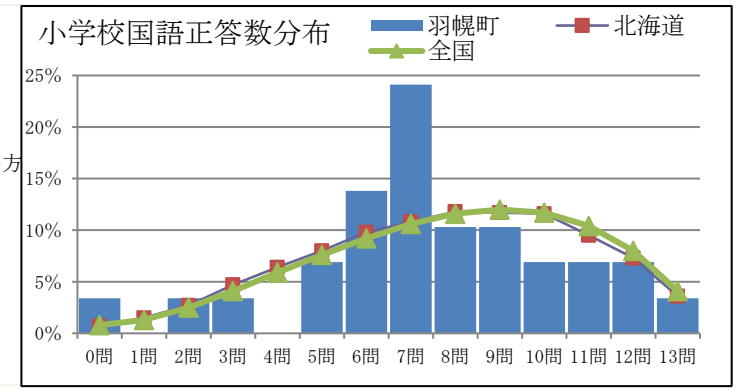


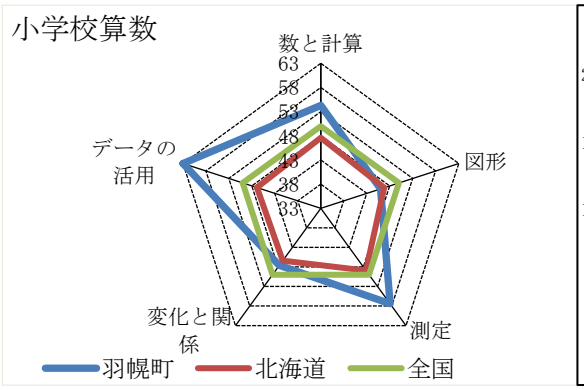


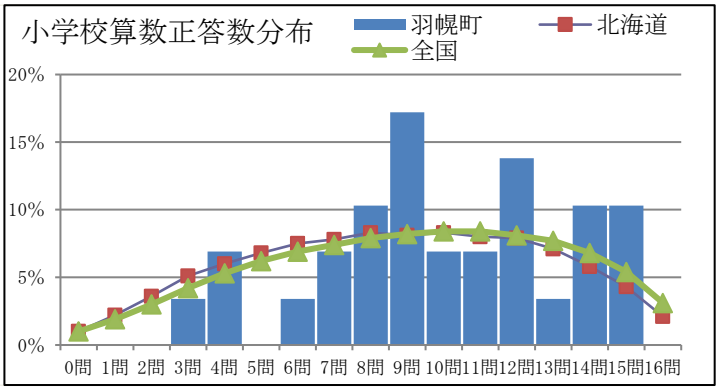


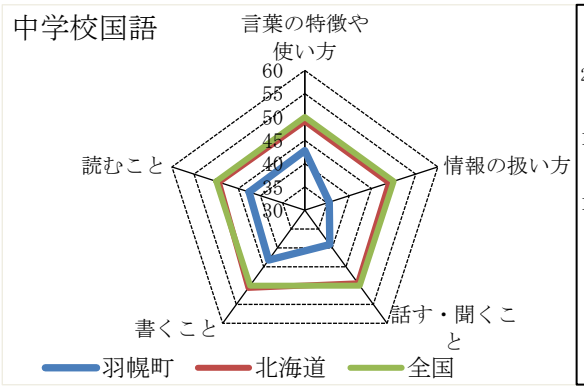
（2）調査の結果（国語・算数・数学）

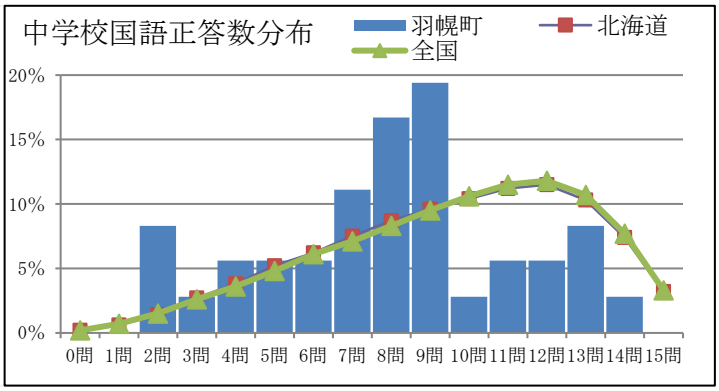


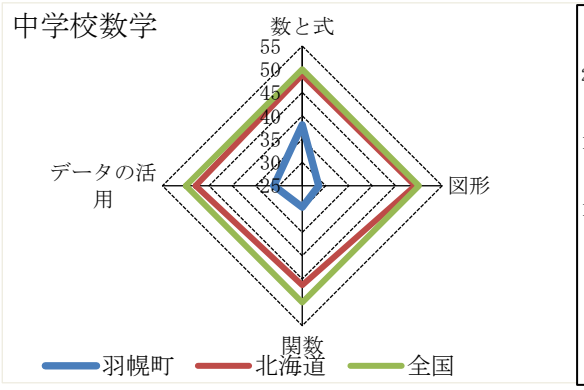


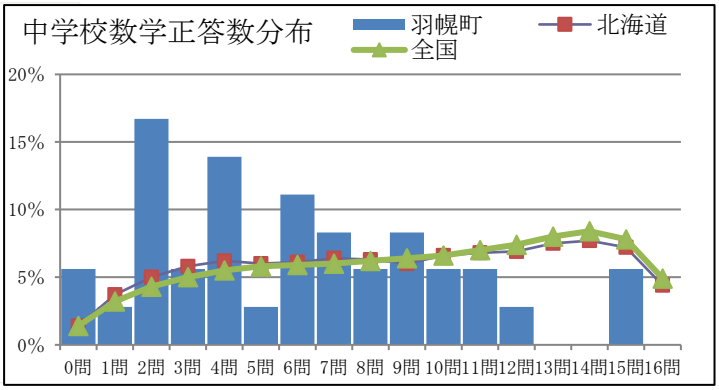












※左記のレーダーチャートは学習指導要領の領域毎に全国平均正答率を 50 に換算して比較したもの。

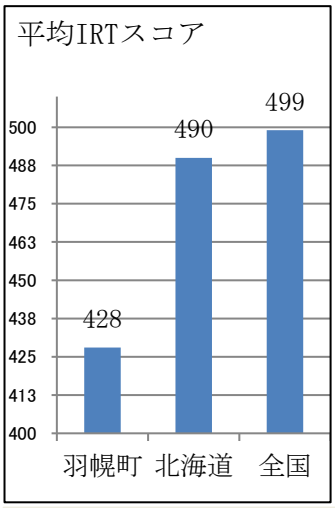
（4）調査の結果（英語）

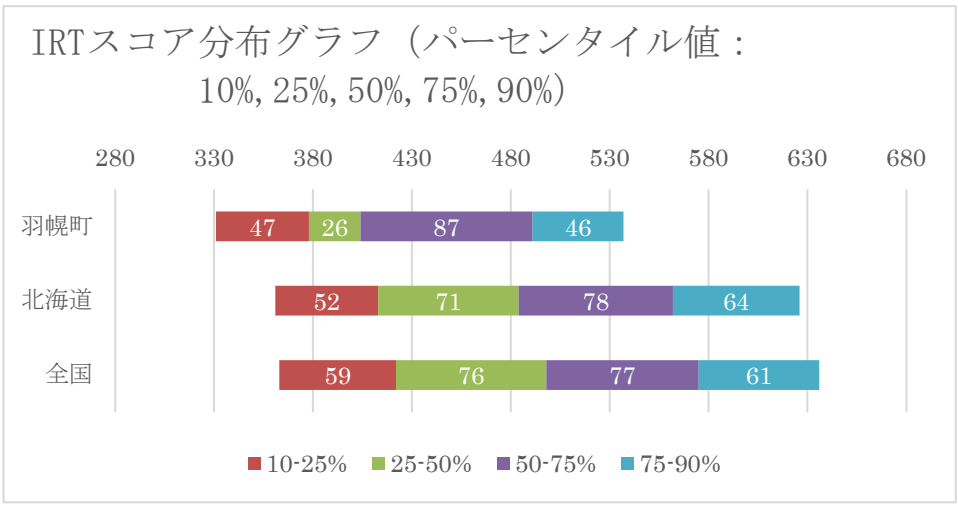
・　中学校英語については、単に平均正答率を見るのではなく、問題の難易度を踏まえて学力をより精密に測るため、IRT(Item Response Theory：項目反応理論）が導入されている。

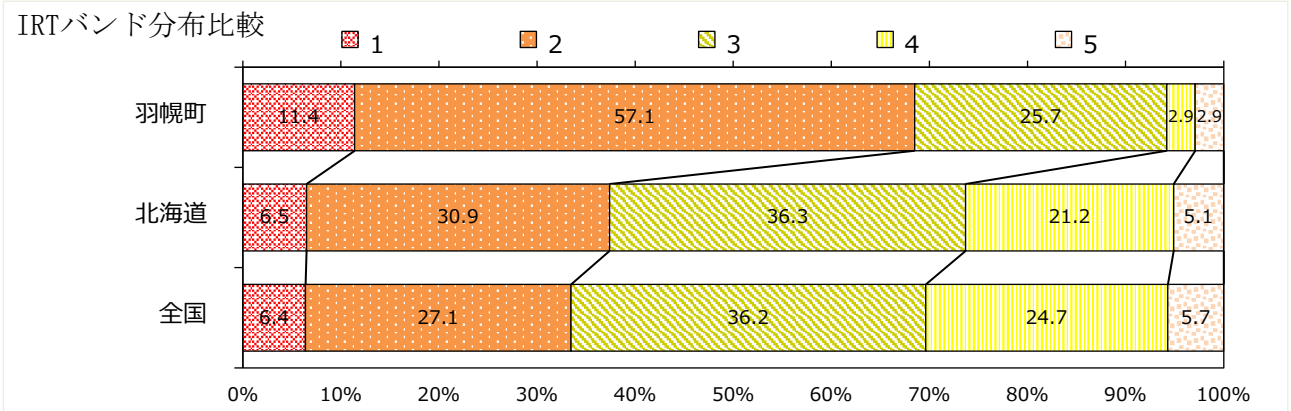
これにより、年度や問題構成が異なっても同じものさし（尺度）で比較が容易となり、児童生徒一人ひとりの学力・学習状況をより細かく分析することが可能となる。

【用語説明】

<table>
<tr><th>用語</th><th>解説</th></tr>
<tr><td>IRT</td><td>児童生徒の正答・誤答が、問題の特性（難易度、測定精度）によるのか、児童生徒の学力によるのかを区別して分析し、児童生徒の学力スコアを推定する統計理論。</td></tr>
<tr><td>IRT スコア</td><td>IRT に基づいて各設問の正誤パターンの状況から学力を推定し、500 を基準にした得点で表すもの。</td></tr>
<tr><td>IRT バンド</td><td>IRT スコアを１～５の５段階に区切ったもの。３を基準のバンドとし、５が最も高いバンドとなる。
※IRT バンドを IRT スコアに換算すると、 およそ以下のような対応関係になる。
<table>
<tr><td>IRT バンド</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td></tr>
<tr><td>IRT スコア範囲</td><td>～350</td><td>350～450</td><td>450～550</td><td>550～650</td><td>650～</td></tr>
</table>
</td></tr>
</table>





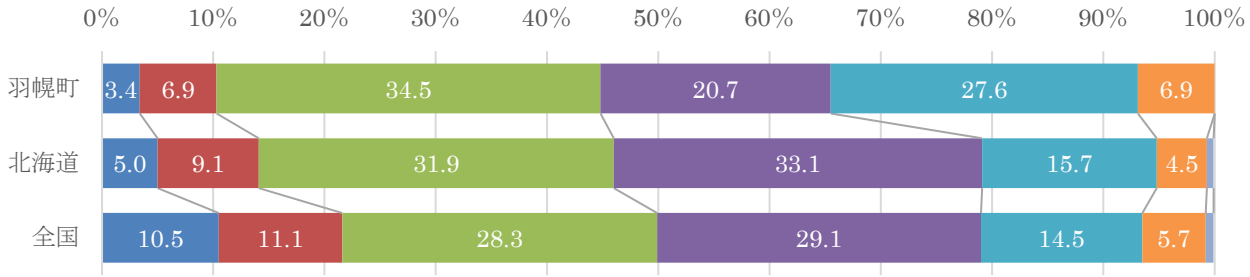


3．質問調査の結果

（1）児童に関する質問調査

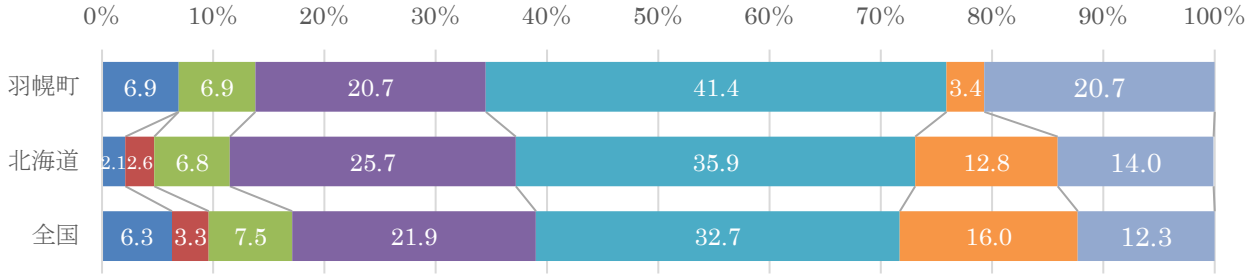
学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、１日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）

■1. ３時間以上　■2. ２時間以上、３時間より少ない　■3. １時間以上、２時間より少ない
■4. ３０分以上、１時間より少ない　■5. ３０分より少ない　■6. 全くしない　■7. 無回答



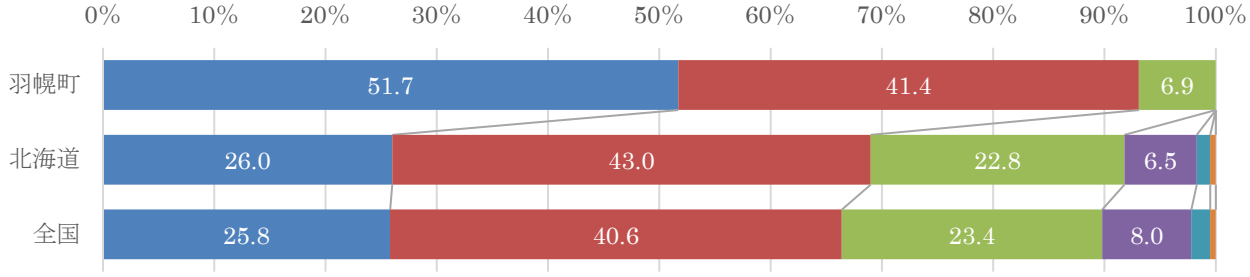
土曜日や日曜日など学校が休みの日に、１日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）

■1. ４時間以上　■2. ３時間以上、４時間より少ない　■3. ２時間以上、３時間より少ない
■4. １時間以上、２時間より少ない　■5. １時間より少ない　■6. 全くしない　■7. 無回答

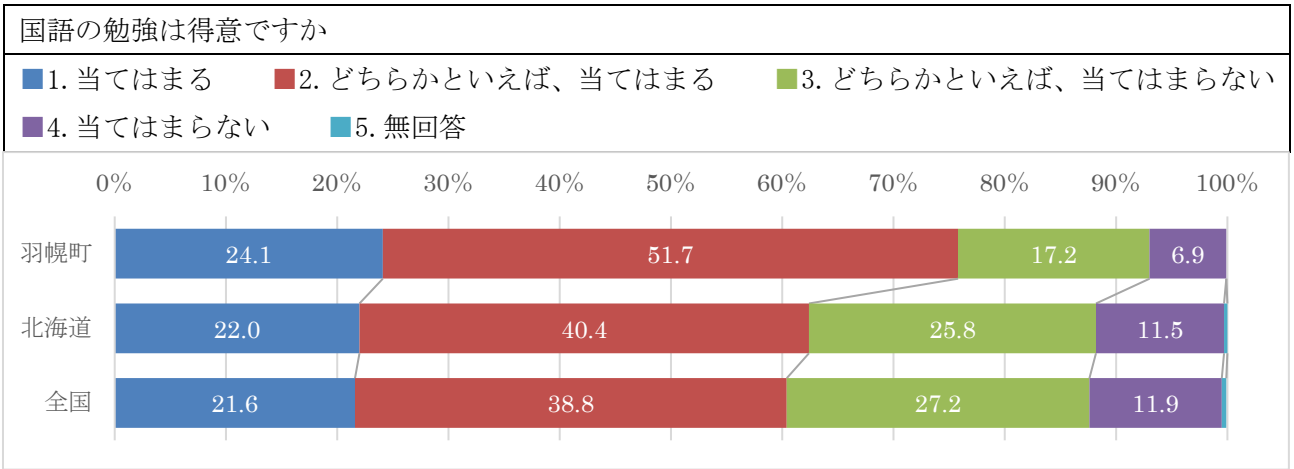


５年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか

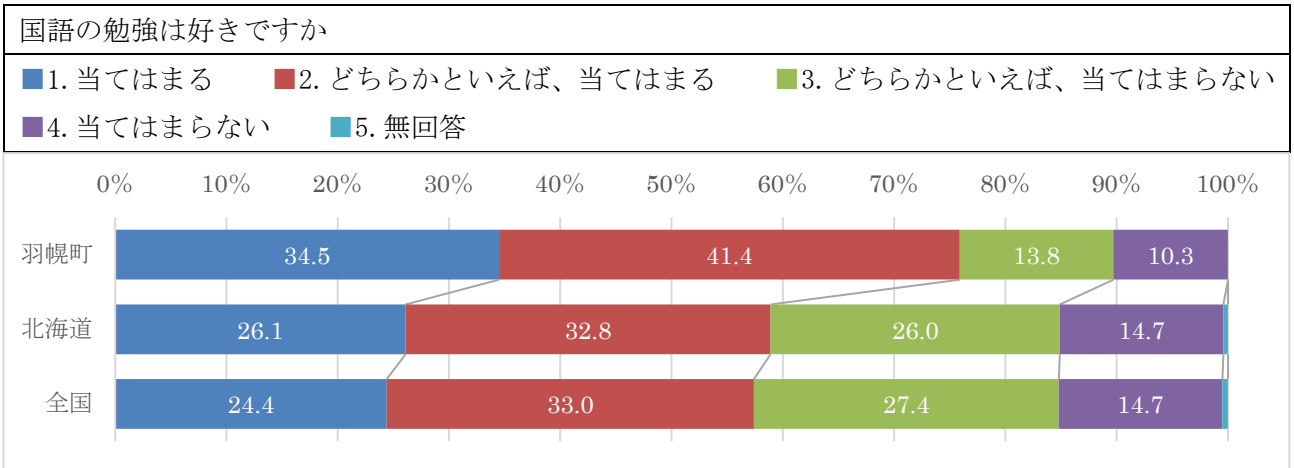
■1. 発表していた　■2. どちらかといえば、発表していた　■3. どちらかといえば、発表していなかった　■4. 発表していなかった　■5. 考えを発表する機会はなかった　■6. 無回答



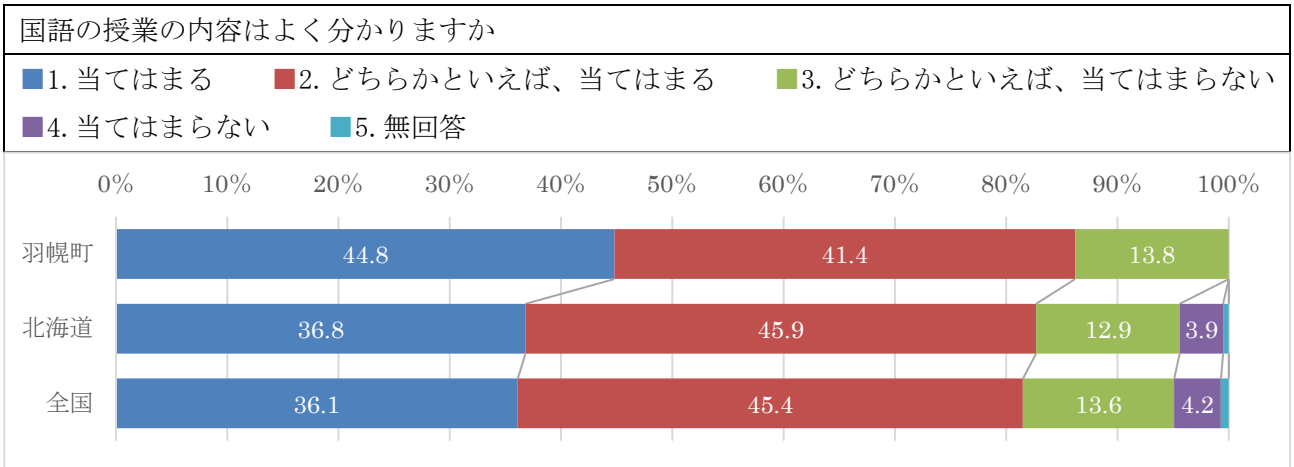
国語の勉強は得意ですか



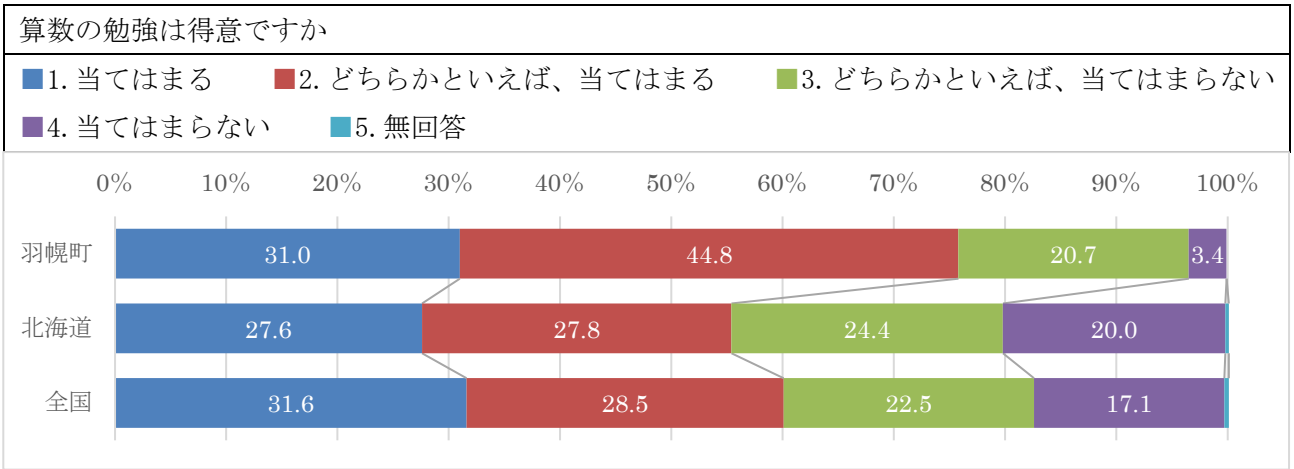
国語の勉強は好きですか



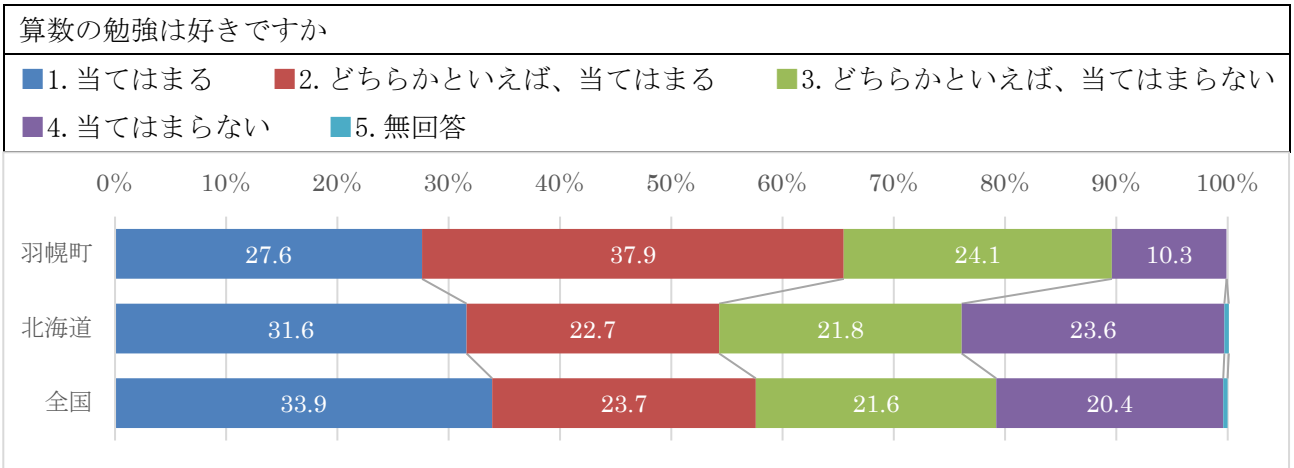
国語の授業の内容はよく分かりますか



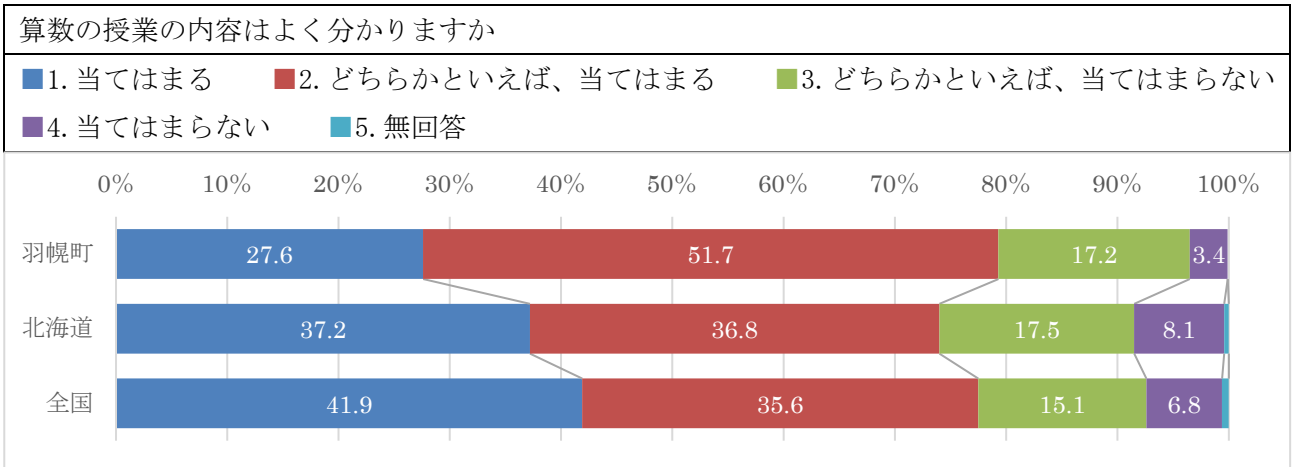
算数の勉強は得意ですか



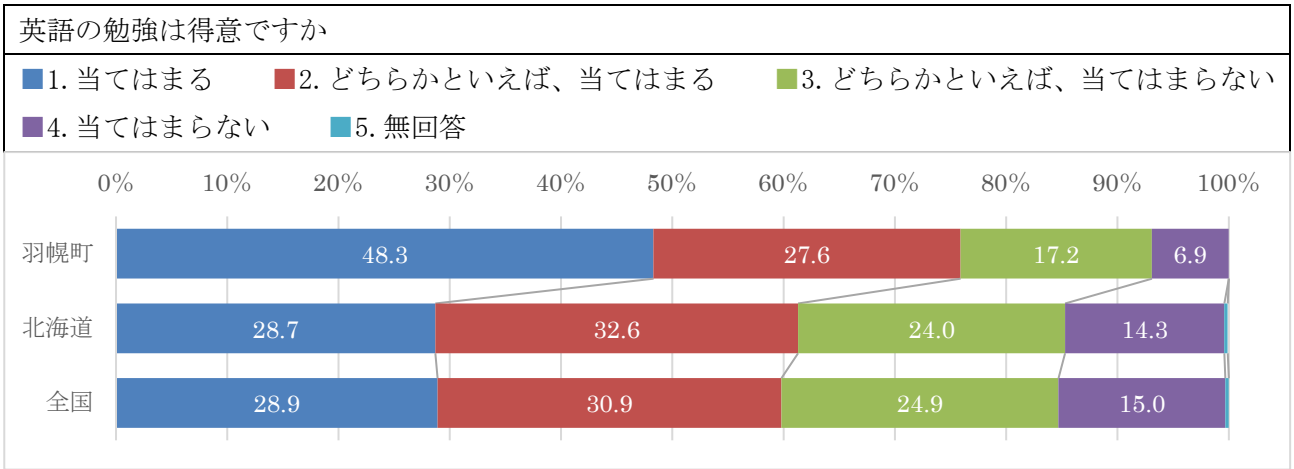
算数の勉強は好きですか



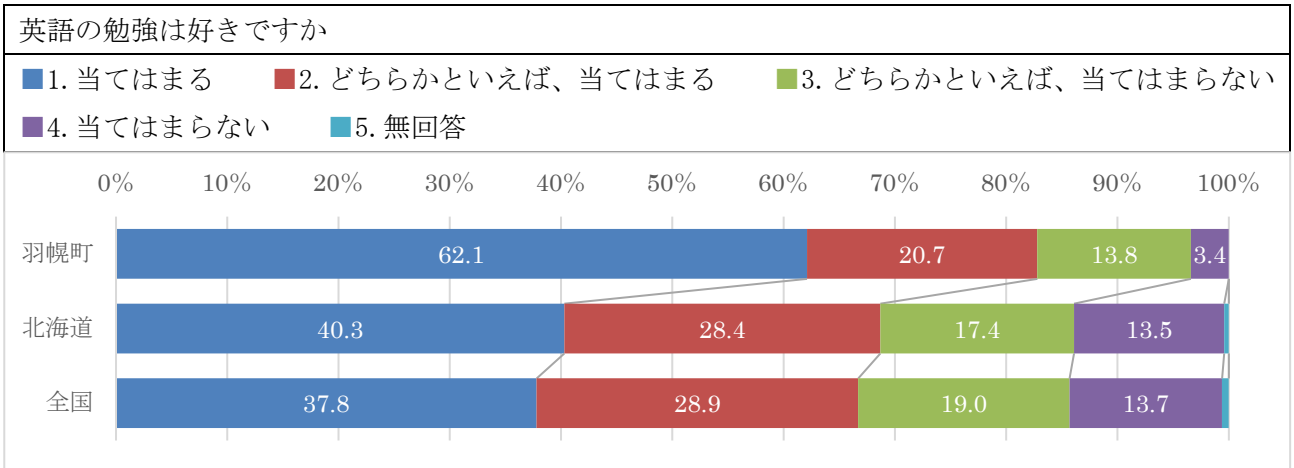
算数の授業の内容はよく分かりますか



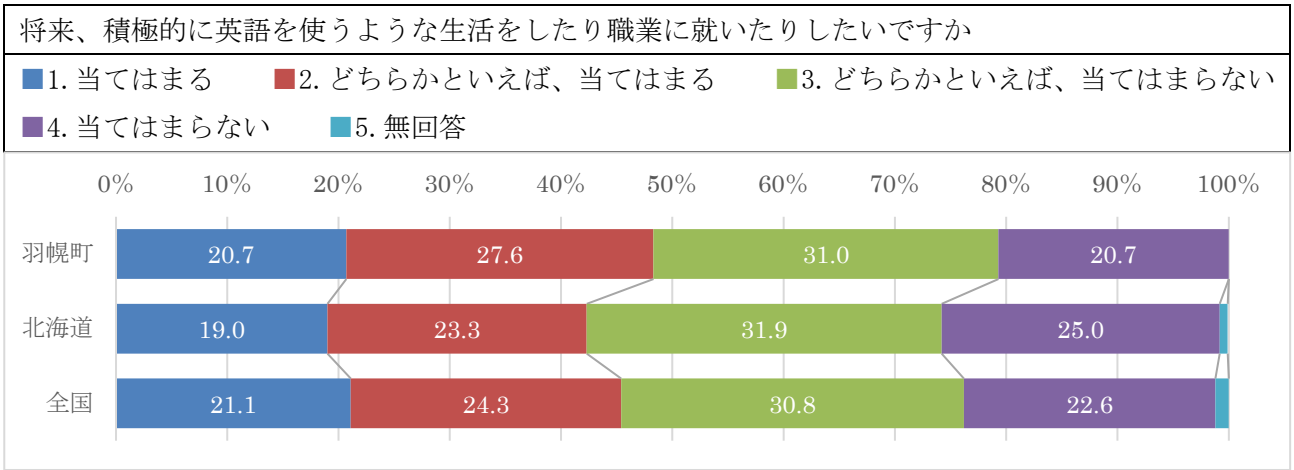
英語の勉強は得意ですか



英語の勉強は好きですか



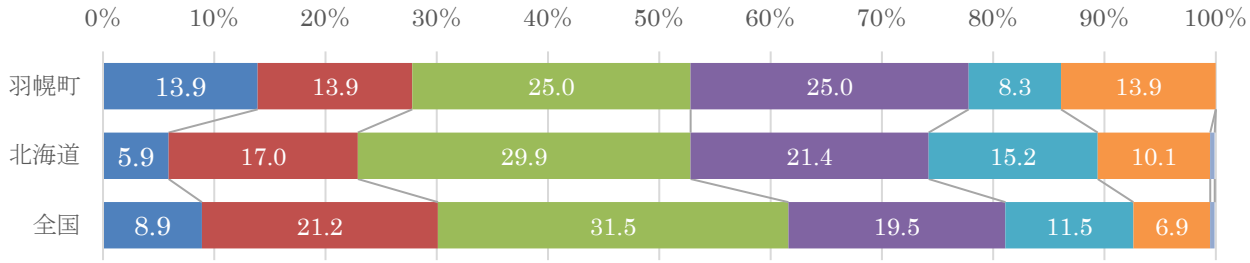
将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいですか



（2）生徒に関する質問調査

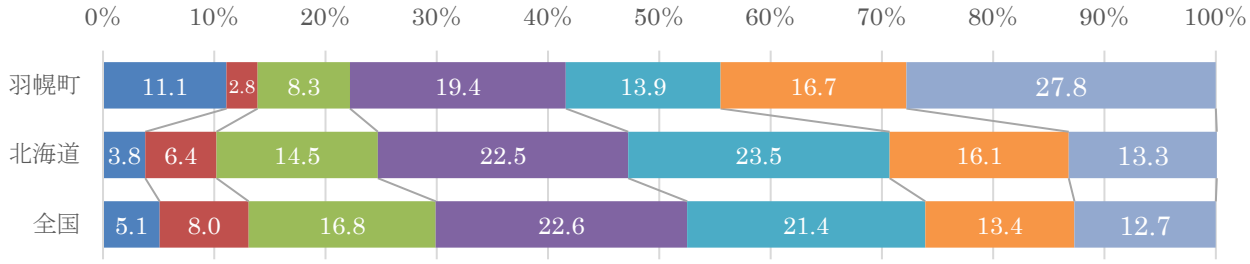
学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、１日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）

■1. ３時間以上　■2. ２時間以上、３時間より少ない　■3. １時間以上、２時間より少ない
■4. ３０分以上、１時間より少ない　■5. ３０分より少ない　■6. 全くしない　■7. 無回答



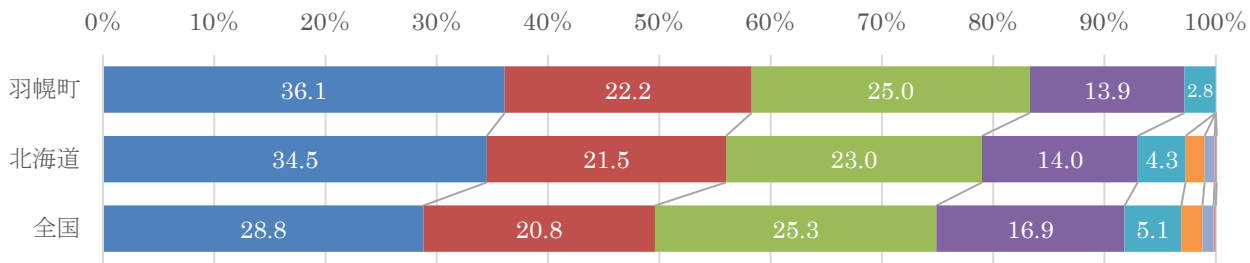
土曜日や日曜日など学校が休みの日に、１日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）

■1. ４時間以上　■2. ３時間以上、４時間より少ない　■3. ２時間以上、３時間より少ない
■4. １時間以上、２時間より少ない　■5. １時間より少ない　■6. 全くしない　■7. 無回答

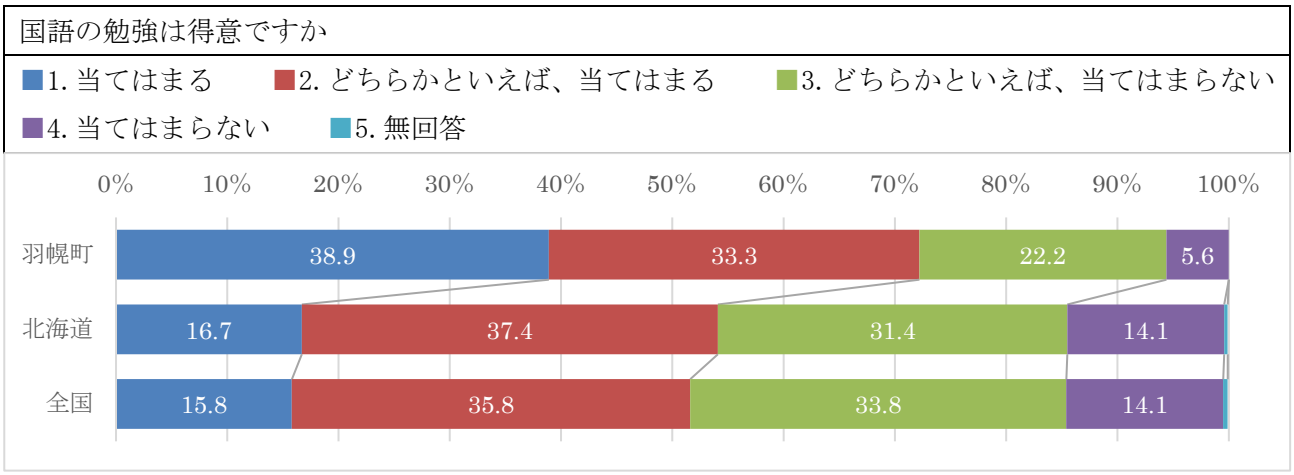


普段（月曜日から金曜日）、１日当たりどれくらいの時間、スマートフォンや携帯電話、パソコン、タブレット、ゲーム機、テレビ等（以下、「スマートフォン等」）で SNS や動画視聴などをしますか（スマートフォン等を使って学習する時間やゲームをする時間は除く）

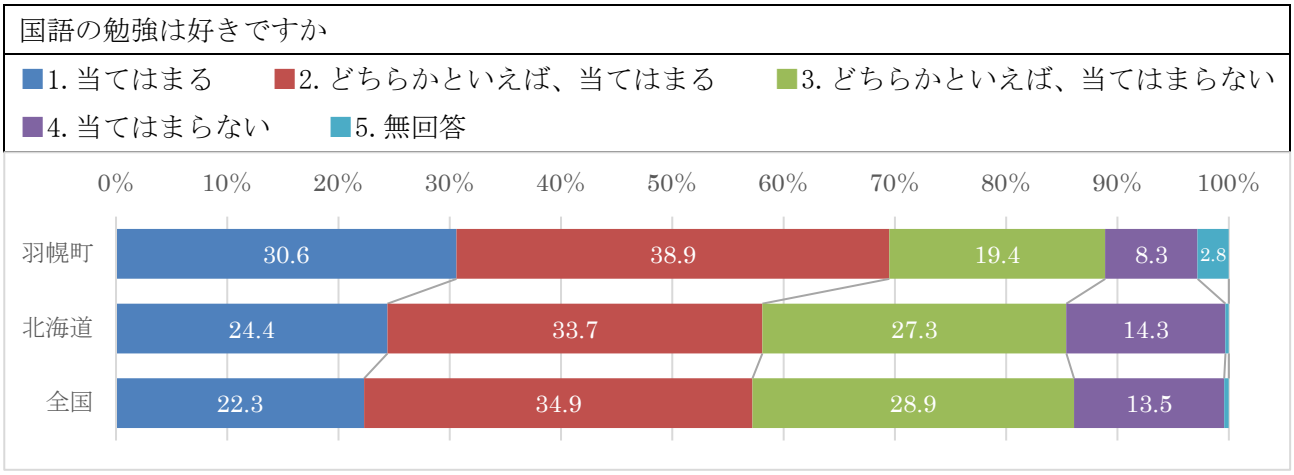
■1. ４時間以上　■2. ３時間以上、４時間より少ない　■3. ２時間以上、３時間より少ない
■4. １時間以上、２時間より少ない　■5. ３０分以上、１時間より少ない　■6. ３０分より少ない
■7. スマートフォン等を持っていない　■8. 無回答



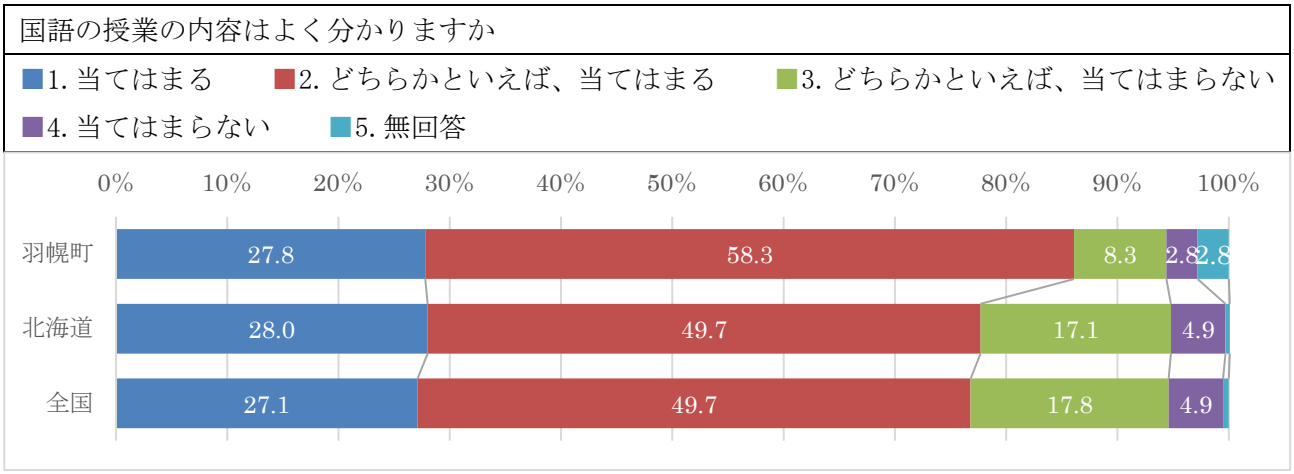
国語の勉強は得意ですか



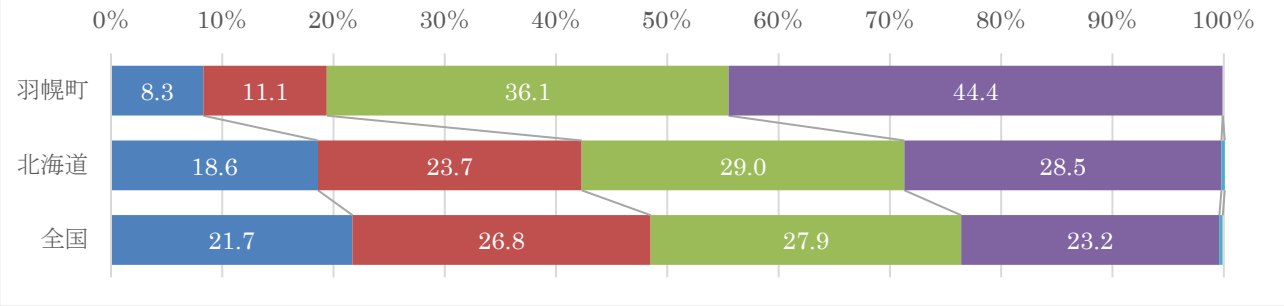
国語の勉強は好きですか



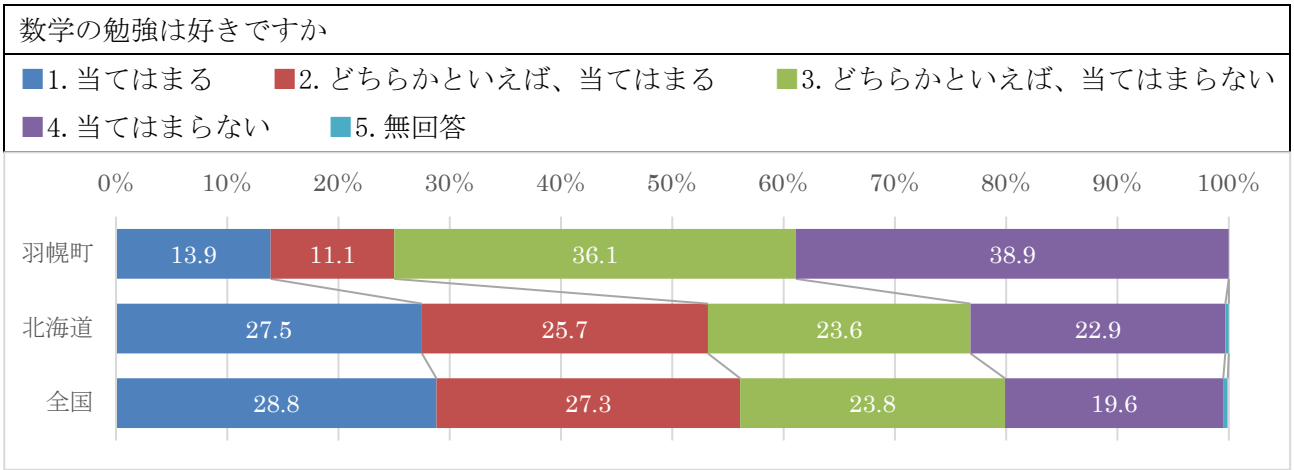
国語の授業の内容はよく分かりますか



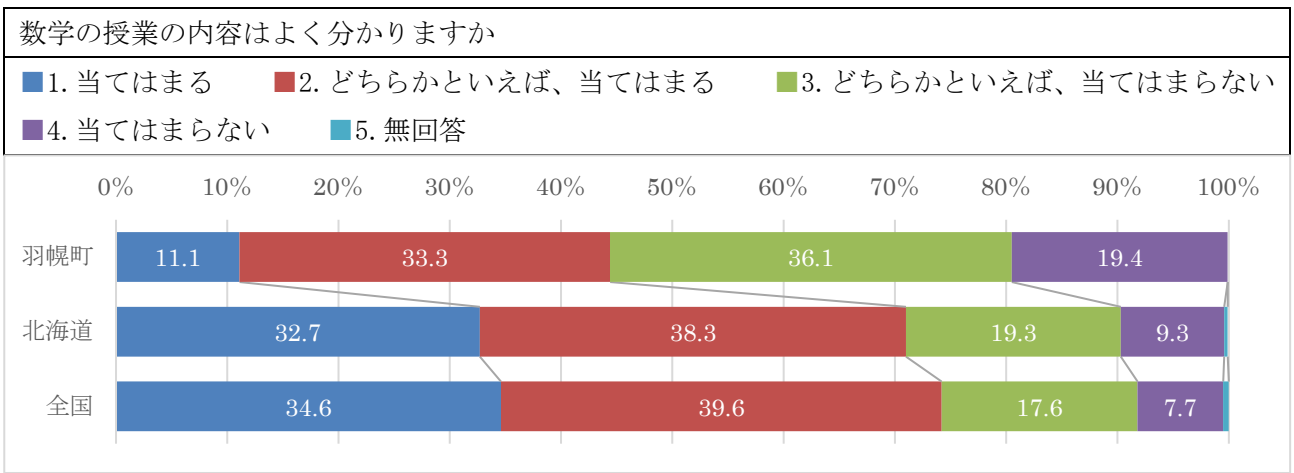
数学の勉強は得意ですか



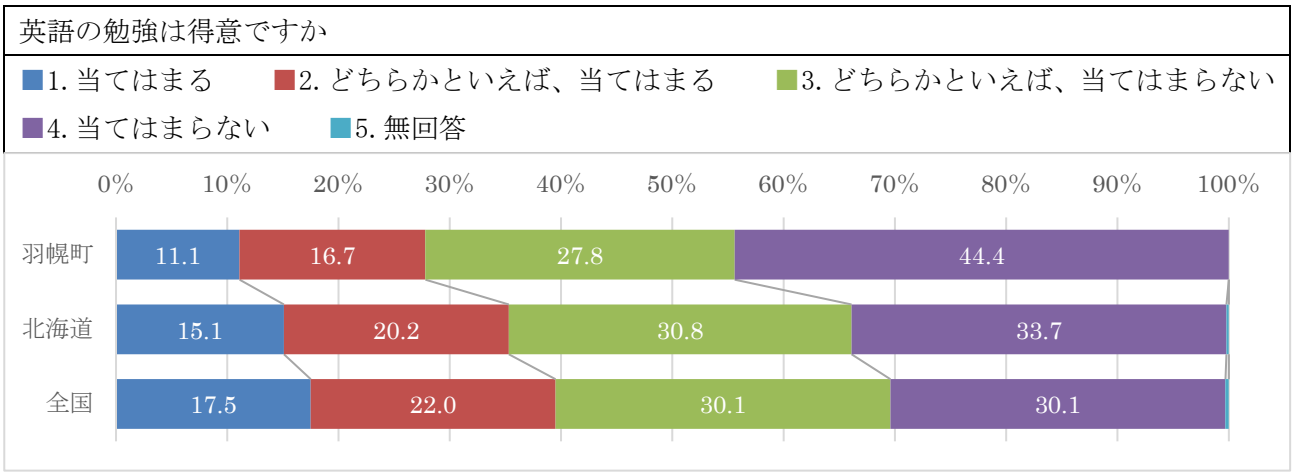
数学の勉強は好きですか



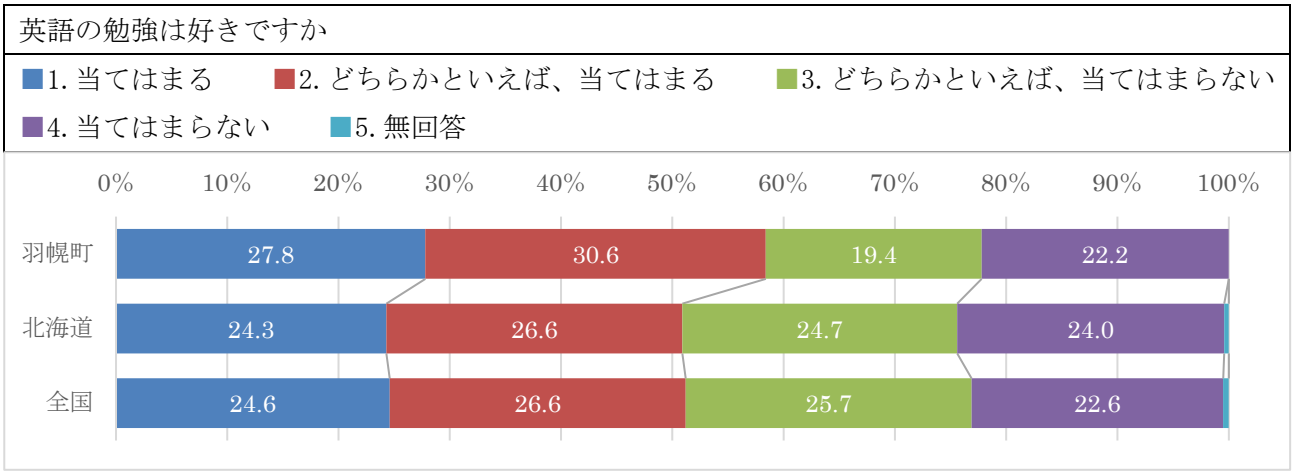
数学の授業の内容はよく分かりますか



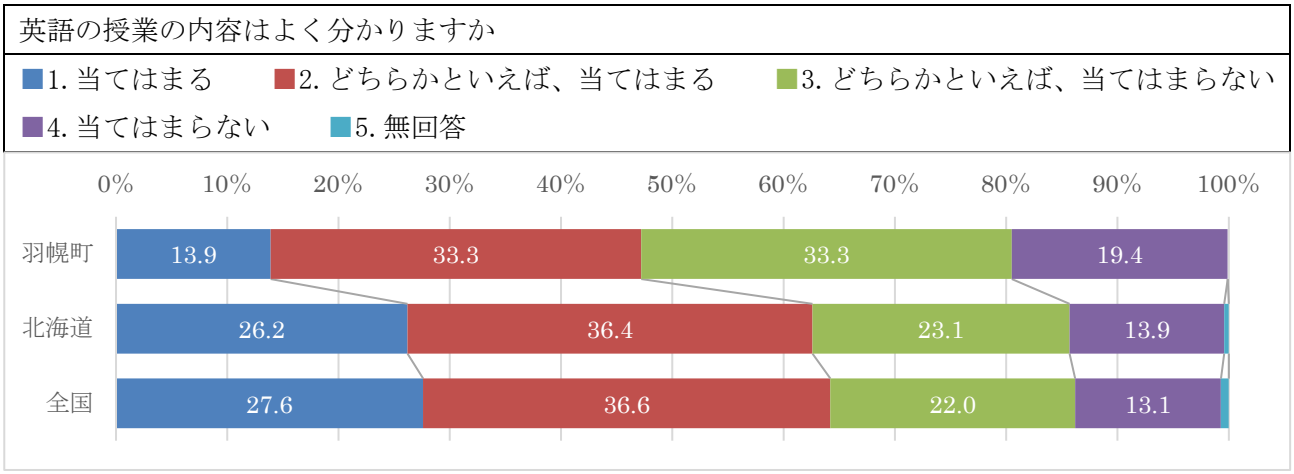
英語の勉強は得意ですか



英語の勉強は好きですか



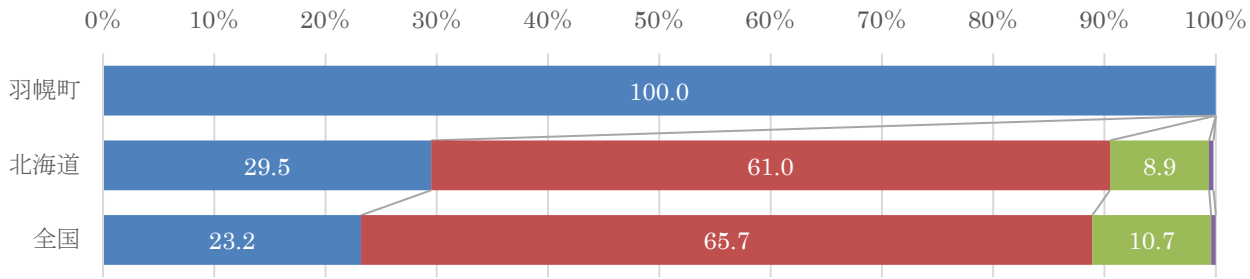
英語の授業の内容はよく分かりますか



（3）小学校に関する質問調査

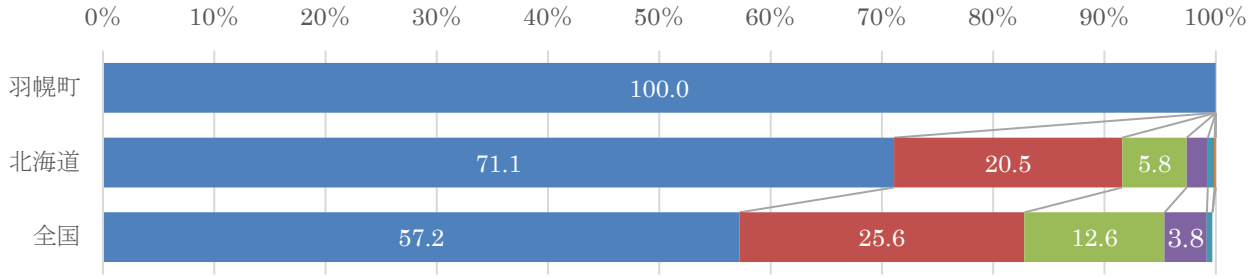
調査対象学年の児童は、熱意をもって勉強していると思いますか

■1. そう思う　■2. どちらかといえば、そう思う　■3. どちらかといえば、そう思わない
■4. そう思わない



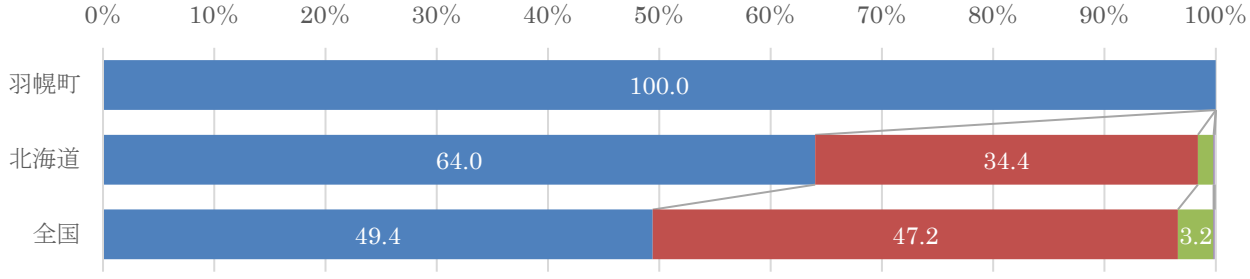
調査対象学年の児童に対して、前年度までに、児童一人一人に配備された PC・タブレットなどの ICT 機器を、授業でどの程度活用しましたか

■1.　ほぼ毎日（１日に複数の授業で活用）　■2.　ほぼ毎日（１日に１回くらいの授業で活用）
■3. 週３回以上　■4. 週１回以上　■5. 月１回以上　■6.　月１回未満

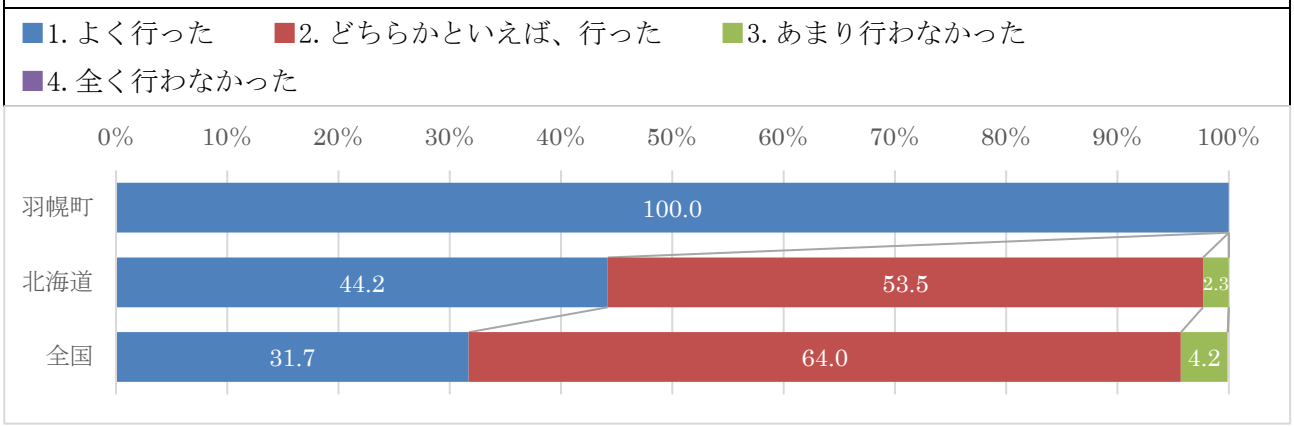


調査対象学年の児童に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、学校では、児童に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えましたか

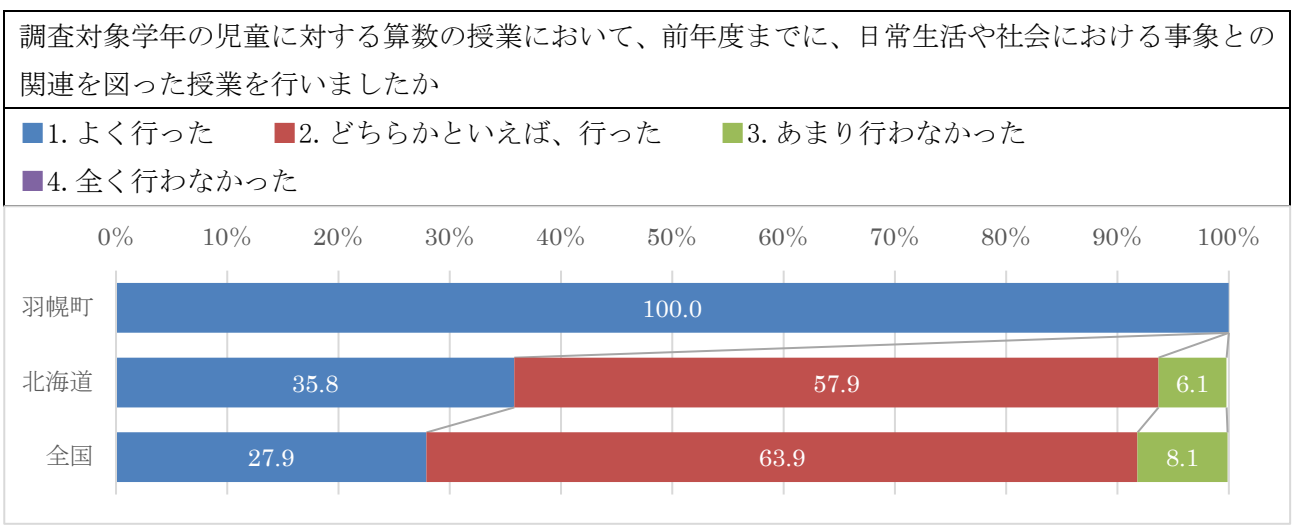
■1. よく行った　■2. どちらかといえば、行った　■3. あまり行わなかった
■4. 全く行わなかった



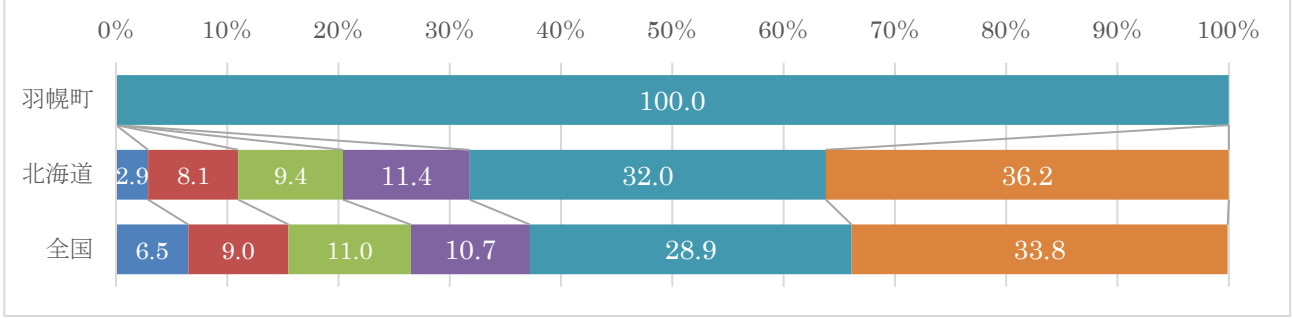
調査対象学年の児童に対して、前年度までに、国語の授業で、児童に学習の状況について改善すべき点を伝え、改善できるように手立てを講じることを行いましたか



調査対象学年の児童に対する算数の授業において、前年度までに、日常生活や社会における事象との関連を図った授業を行いましたか



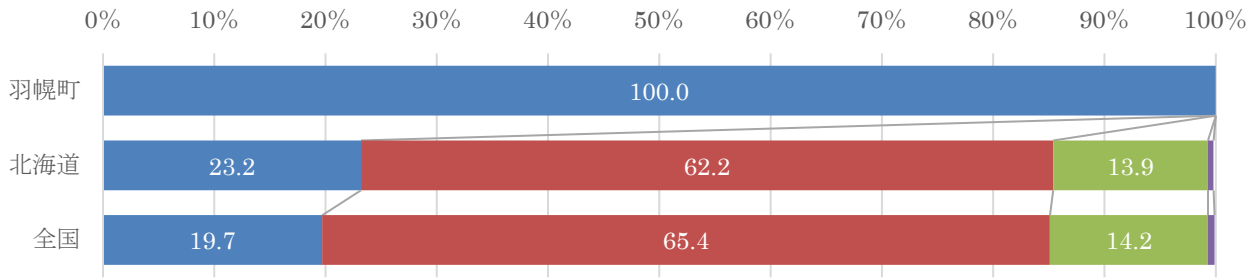
英語の授業以外にも児童が英語に触れる機会（イングリッシュキャンプ、English Day、昼休みの英語での放送等）をどの程度設けていますか



（4）中学校に関する質問調査

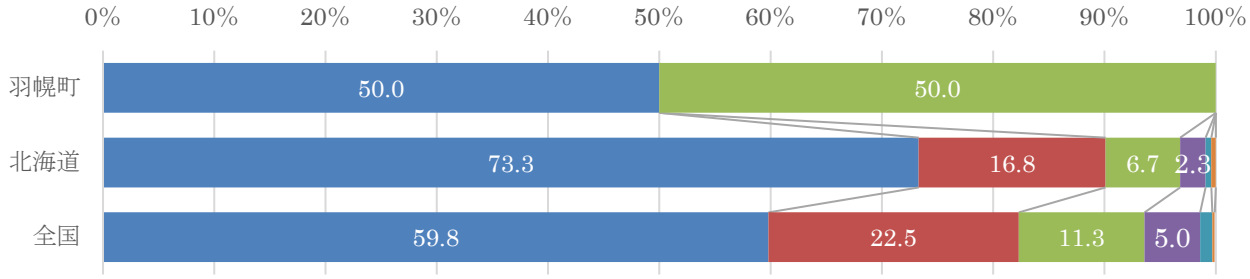
調査対象学年の生徒は、熱意をもって勉強していると思いますか

■1. そう思う　■2. どちらかといえば、そう思う　■3. どちらかといえば、そう思わない
■4. そう思わない



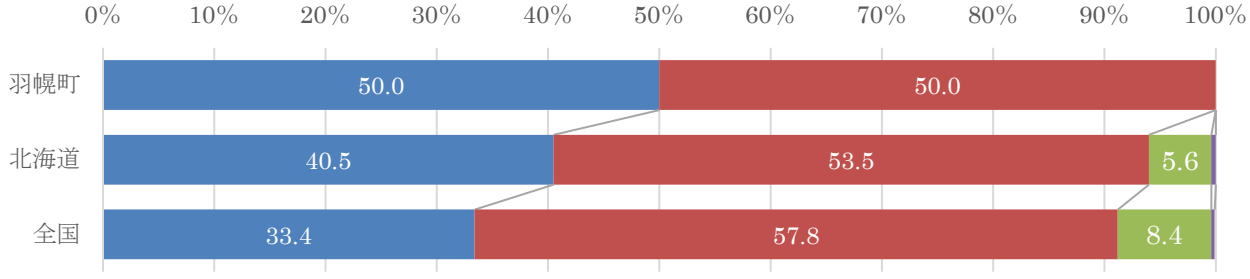
調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、生徒一人一人に配備された PC・タブレットなどの ICT 機器を、授業でどの程度活用しましたか

■1.　ほぼ毎日（１日に複数の授業で活用）　■2.　ほぼ毎日（１日に１回くらいの授業で活用）
■3. 週３回以上　■4. 週１回以上　■5. 月１回以上　■6.　月１回未満

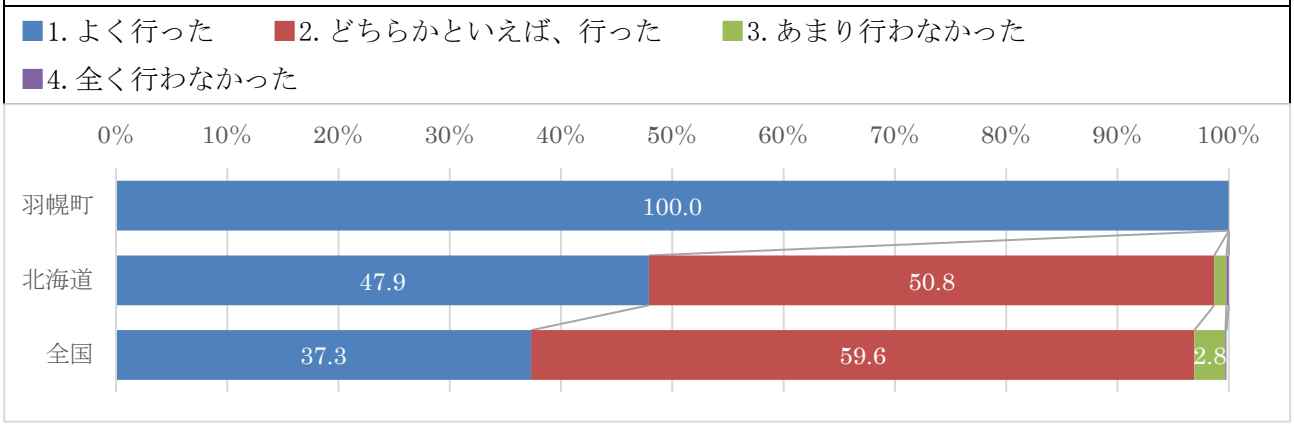


調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、学校では、生徒に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えましたか

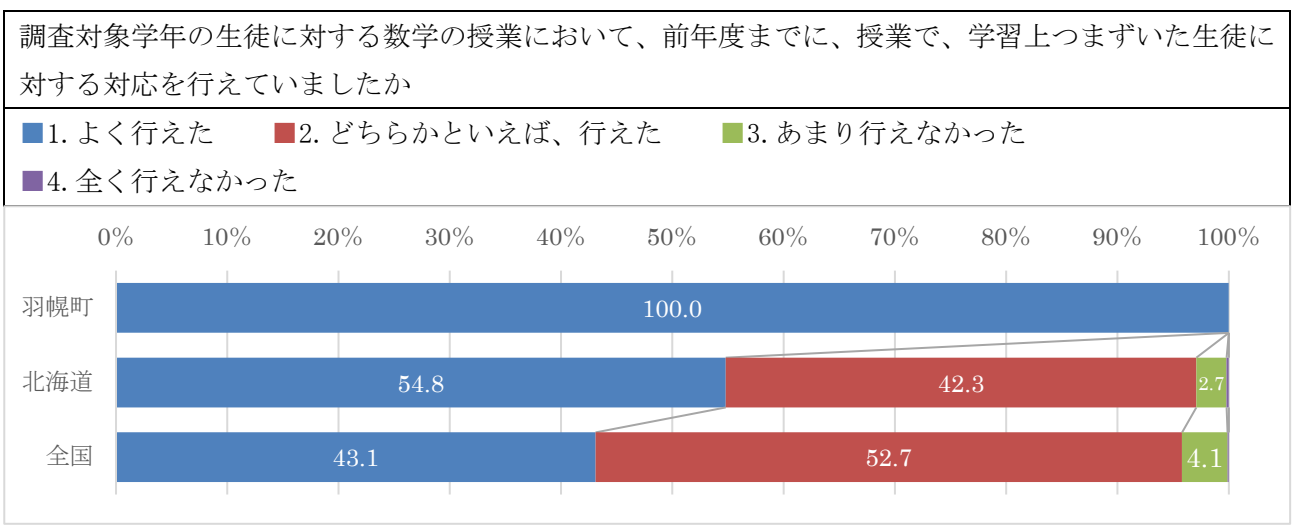
■1. よく行った　■2. どちらかといえば、行った　■3. あまり行わなかった
■4. 全く行わなかった



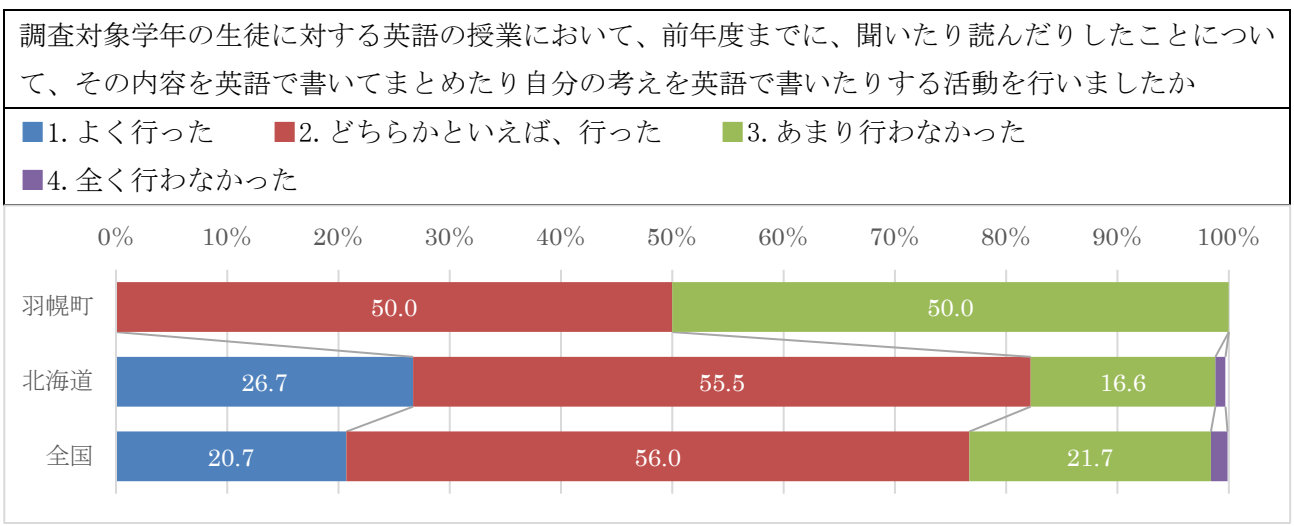
調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、国語の授業で、生徒に学習の状況について改善すべき点を伝え、改善できるように手立てを講じることを行いましたか



調査対象学年の生徒に対する数学の授業において、前年度までに、授業で、学習上つまずいた生徒に対する対応を行えていましたか



調査対象学年の生徒に対する英語の授業において、前年度までに、聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりする活動を行いましたか



４.分析内容

(1) 小学校について

○平均正答率について

国語の平均正答率が全道・全国を下回った結果となり、令和７年度と比較すると若干下降している。算数については全道・全国を上回った結果となり、令和６・７年度で全道・全国を下回っていたが、令和８年度に改善された結果となった。

学習指導要領の領域毎に比較すると、国語については「読むこと」、「話す・聞くこと」の領域で全道・全国を上回ったが、その他の領域については全道・全国を下回り、特に「書くこと」の領域で大幅に下回った結果となった。正答数については７問正答した児童の割合が多い以外は全道・全国とほぼ同水準で分布している結果となった。算数については、「図形」、「変化と関係」の領域については全国を下回ってはいるが、その他の領域で全道・全国を上回っており、特に「データの活用」の領域で全道・全国を大幅に上回った結果となった。正答数については９問正答した児童の割合が多く、１２問以上正解した割合も２番目に多いなど、回答数が多い児童の割合が比較的多く分布している結果となった。

○児童に対する質問調査について

①家庭学習等について

「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日)、１日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか」との質問に対して、「２時間以上勉強する」と回答した児童は全国の約半分となる 10.3%であり、「30 分より少ない」と回答した児童は全国の約２倍となる 27.6%であったが、「勉強する」と回答した児童の割合自体は 90%を超えており、全道・全国とほぼ同水準となった。加えて、「土曜日や日曜日など学校が休みの日に、１日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか」との質問に対して「４時間以上勉強する」と回答した児童は全道・全国を上回っており、「勉強する」と回答した児童の割合は全道・全国を上回っている。

このことから、勉強時間はやや短いものの家庭での学習習慣が備わっている児童が多いことが言え、算数の正答率の向上につながったと考える。また、「５年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか」との質問に対して「発表していた」と回答した児童は全道・全国の約２倍となる 51.7%であったことから、日頃から資料等を活用して発表内容をまとめていた児童の割合が多いことが言え、算数の「データの活用」の領域の正答率向上の要因の一つに挙げられる。

②教科について

国語については平均正答率が全道・全国を下回っているものの、「国語の勉強が得意ですか」、「国語の勉強は好きですか」、「国語の授業の内容はよく分かりますか」の質問に肯定的な回答した割合は全道・全国を上回っている。このことから、授業では内容を理解しているが、内容の定着が図られておらず、結果に反映されていない状況であると考えられる。

算数については「算数の勉強が得意ですか」、「算数の勉強は好きですか」、「算数の授業の内容は

よく分かりますか」の質問に対する肯定的な回答の割合が全道・全国を上回っているほか、最も否定的な回答の割合も低いことから、算数を得意としており、苦手としている児童が少ないと言え、正答率の高さにつながったと考える。

○学校に対する質問調査について

「調査対象学年の児童は、熱意をもって勉強していると思いますか」との質問に対して肯定的な回答をしている上、「調査対象学年の児童に対して、前年度までに、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業でどの程度活用しましたか」との質問では「ほぼ毎日（１日に複数の授業で活用)」と回答したことから、小学校における ICT 機器の活用が進んでいることが分かる。

さらに、「調査対象学年の児童に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、学校では、児童に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えましたか」との問いに対して「よく行った」と回答したことから、家庭での学習習慣が備わっている児童が多い要因であると言え、教師陣の指導体制による効果が大きいと考える。

また、国語・算数・英語の授業に係る質問に対しては肯定的な回答が多いことから、国語については、苦手意識がある児童の減少、算数・英語についてはさらなる学力の向上に向け、今後も継続して取組を行う必要がある。

(2) 中学校について

○国語・数学の平均正答率について

国語と数学で平均正答率が全道・全国を下回った結果となり、平均正答率の差については令和７年度と比較すると両方とも差が広がった。

学習指導要領の領域毎に比較すると、国語については全領域で下回っており、「情報の扱い方」の領域が最も低い結果となった。正答数については９問正答した生徒の割合が多いが、１０問以上正解した割合が少なく分布している結果となった。数学についても全領域で下回っており、「図形」の領域が最も低い結果となった。正答数については２問正答した生徒の割合が多く、正答数が少ない生徒の割合が多く分布している結果となった。

○英語の IRT 分析について

平均 IRT スコアを比較すると全道・全国とで約 70 の差があり、IRT スコア分布グラフを比較しても下方に分布した結果となった。また、IRT バンド分布を比較しても「１」、「２」の分布が相対的に高い結果となったことから、低位・中位層に生徒が集中していると言える。

○生徒に対する質問調査について

①家庭学習等について

「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、１日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか」との質問に対して、「３時間以上勉強する」と回答した生徒は全道・全国を上回っている一方で、「勉強しない」と回答した割合が全国の約２倍となる 13.9%となった。さらに、「土曜日や日曜日など学校が休みの日に、１日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか」との質問に対して「４時間以上勉強する」と回答した生徒は全道・全国を上回っているが、「勉強する」と回答した生徒の割合については全道・全国に比べ約 15%低い 55.5%となった。

このことから、家庭での学習習慣が備わっている生徒は一定数存在するものの、備わっていない生徒が比較的多いことが言え、正答率の減少につながったと考える。また、「普段（月曜日から金曜日）、１日当たりどれくらいの時間、スマートフォンや携帯電話、パソコン、タブレット、ゲーム機、テレビ等（以下、「スマートフォン等」）で SNS や動画視聴などをしますか（スマートフォン等を使って学習する時間やゲームをする時間は除く）」との質問に対し、全員がスマートフォン等を所持しており、視聴時間も全道・全国に比べ長いことも家庭学習時間の減少につながることから、正答率減少の要因の一つに挙げられる。

②教科について

国語については「国語の勉強が得意ですか」、「国語の勉強は好きですか」、「国語の授業の内容はよく分かりますか」の質問に肯定的な回答した割合が全道・全国を上回った。このことから、授業では内容を理解しているが、内容の定着が図られていない状況であると考えられる。

数学については「数学の勉強が得意ですか」、「数学の勉強は好きですか」、「数学の授業の内容はよく分かりますか」の質問に対する肯定的な回答の割合は全道・全国と比べ全て低く、中でも「数学の勉強は好きですか」の質問に肯定的に回答した割合が 25.0%であり、全道・全国と比べ突出して低い結果となった。このことから、数学に苦手意識があり不得意としている生徒が多いと言え、正答率の低下の要因の一つになったと考えられる。

英語については「英語の勉強は好きですか」の質問に対する肯定的な回答の割合は全道・全国と比べ高いが、「英語の勉強は得意ですか」、「英語の授業の内容はよく分かりますか」の質問に対する肯定的な回答の割合は全道・全国と比べ低い結果となった。このことから、英語を学習することには意欲的だが、授業の内容が理解出来ずに不得意としている生徒が多いと言え、正答率の低下の要因の一つになったと考えられる。

○学校に対する質問調査について

「調査対象学年の生徒は、熱意をもって勉強していると思いますか」との質問に対して全ての学校で肯定的な回答をしている上、「調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、生徒一人一人に配備された PC・タブレットなどの ICT 機器を、授業でどの程度活用しましたか」との質問では全ての学校で少なくとも「週３回以上」使用していると回答したことから、小学校と同様に中学校における ICT 機器の活用が町内全域的に進んでいることが分かる。

さらに、「調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、学校では、生

徒に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えましたか」との問いに対して、全ての学校で肯定的な回答をしているが、先述のとおり家庭での学習習慣が備わっていない生徒が多いため、さらなる家庭学習への意識付け必要であると考える。

また、国語・数学の授業に係る質問に対しては全ての学校で肯定的な回答をしているが、英語については肯定的な回答と否定的な回答とで分かれた。このことから、国語・数学については、さらなる学力の向上・理解度の定着、英語については苦手意識がある生徒の減少、理解力向上に向けた授業スタイルの構築に向け、今後も継続して取組を行う必要がある。

(3) 総括

今年度の全国学力・学習状況調査の結果について、小学校調査では全道・全国の平均正答率を上回る教科もあり、昨年度に比べ学力向上の兆しは感じることが出来るが、毎日の家庭学習時間に課題がみられる状況であり、今後も継続して改善の取組を行う必要がある。中学校調査では、全ての教科で全道・全国の平均正答率等が下回った上、家庭学習の取組、授業の理解度に課題がみられる状況であることから、生徒自身の意識を向上させる体制が必要と考える。

今後は、これらの調査及び分析結果に基づき、これまでの取組に係る成果を踏まえつつ、保護者や地域などの理解や協力を得ながら改善に向け積極的に取り組むなど、児童生徒の生活改善・意識の醸成を図り、総体的に学力向上へ取り組んでいく必要がある。